

財政状況等一覧表（平成20年度決算）

(単位:百万円)

団体名 小浜市

標準税収入額等 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 備発行可能額 C	標準財政規模 A+B+C
4,315	3,708	279	8,303

1. 一般会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	14,795	14,324	472	421	6	16,448	
一般会計等	14,795	14,324	472	421		16,448	

「一般会計等」の数値は、各会計間の繰入・繰出などを控除(純計)したものであることから、各会計間の合計額と一致しない項目がある。

2. 公営企業会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
国民健康保険事業特別会計	3,273	3,124	149	149	167	-	-	公営事業
老人医療特別会計	325	304	21	21	22	-	-	公営事業
後期高齢者医療特別会計	337	335	2	2	318	-	-	公営事業
介護保険事業特別会計	2,711	2,681	30	30	394	-	-	公営事業
駐車場事業特別会計	36	32	3	3	-	-	-	公営事業
水道事業会計	398	397	1	370	-	2,716	193	法適
国民宿舎事業会計	86	89	3	67	-	-	-	法適
簡易水道事業特別会計	101	99	2	2	25	567	283	法非適
下水道事業等特別会計	3,695	3,642	53	53	617	15,464	10,021	法非適
農業集落排水事業特別会計	522	514	8	8	225	5,242	3,156	法非適
漁業集落排水事業特別会計	77	75	3	3	22	202	127	法非適
公営企業会計等 計				708		24,191	13,780	

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法の全部又は一部を適用する公営企業である。
 2. 法適用企業会計以外の特別会計については「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。
 3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には負数(-)で表示している。
 4. 「左のうち一般会計等繰入見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等負担見込額	備考
公立小浜病院組合(小浜病院)	6,428	7,423	994	1,314	-	14,208	4,232	
若狭消防組合	1,790	1,775	15	15	5	265	141	
福井県市町総合事務組合(普通会計分)	5,428	5,414	14	14	970	-	-	
福井県市町総合事務組合(事業会計分)	187	135	52	52	-	-	-	
福井県後期高齢者医療広域連合(普通会計)	985	874	111	111	-	-	-	
福井県後期高齢者医療広域連合(事業会計)	76,911	74,217	2,694	2,694	786	-	-	
福井県自治会館組合	130	125	5	5	-	-	-	
嶺南広域行政組合	1,389	1,386	2	2	689	-	-	
一部事務組合等 計				4,207		14,473	4,373	

4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体からの 出資金	当該団体からの 補助金	当該団体からの 貸付金	当該団体からの 債務保証に係る 債務残高	当該団体からの 損失補償に係る 債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
小浜市土地開発公社	64	133	4	-	-	1,148	-	159	
株式会社ケーブルテレビ若狭小浜	82	204	20	1	-	-	101	11	
小浜市体育振興協会	0	334	1	5	-	-	-	-	
小浜市総合卸売市場	4	140	50	-	38	-	-	-	
地方公社・第三セクター等 計			75	6	38	1,148	101	170	

(注) 損益計算書を作成していない社団・財団法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を表示している。

5. 充当可能基金の状況

(単位:百万円)

充当可能基金名	平成19年度 決算 A	平成20年度 決算 B	差引 B-A
財政調整基金	816	817	1
減債基金	101	221	120
その他充当可能基金	735	700	35
充当可能基金計	1,652	1,738	86

(注)「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

6. 財政指標の状況

財政指標名	平成19年度 決算 A	平成20年度 決算 B	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成19年度 決算 A	平成20年度 決算 B	差引 B-A
実質赤字比率	5.58	5.07	0.51	13.67	20.0	水道事業会計	-	-	-
連結実質赤字比率	14.48	13.59	0.89	18.67	40.0	国民宿舎事業会計	-	-	-
実質公債費比率	13.3	13.9	0.60	25.0	35.0	簡易水道事業特別会計	-	-	-
将来負担比率	151.1	145.4	5.70	350.0		下水道事業特別会計	-	-	-
財政力指数	0.49	0.49	0.00			農業集落排水事業特別会計	-	-	-
経常収支比率	99.1	96.0	3.1			漁業集落排水事業特別会計	-	-	-

- (注) 1.「実質赤字比率」、「連結実質赤字比率」、「資金不足比率」は負数(-)で表示している。
 2.「実質赤字比率」、「連結実質赤字比率」は、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。
 3.早期健全化基準に相当する「資金不足比率」の「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律 20%である(公営競技は0%)。
 4.「早期健全化基準」及び「財政再生基準」は平成20年度決算における基準である。